

3. 卒業者の進路状況（平成17年3月卒業生）

（1） 中学部（中学校特殊学級）卒業者の進路状況（カッコ内は卒業者に対する割合）

区分	卒業者	進学者	教育訓練機関等	就職者	施設・医療機関	その他
盲・聾・養護学校中学部計	人 7,276	人 7,004 (96.3%)	人 23 (0.3%)	人 9 (0.1%)	人 141 (1.9%)	人 99 (1.4%)
盲学校	191	185 (96.9%)	0 —	1 (0.5%)	0 —	5 (2.6%)
聾学校	371	368 (99.2%)	0 —	0 —	0 —	3 (0.8%)
養護学校計	6,714	6,451 (96.1%)	23 (0.3%)	8 (0.1%)	141 (2.1%)	91 (1.4%)
知的障害養護学校	4,825	4,642 (96.2%)	5 (0.1%)	5 (0.1%)	110 (2.3%)	63 (1.3%)
肢体不自由養護学校	1,409	1,371 (97.3%)	2 (0.14%)	1 (0.07%)	27 (1.9%)	8 (0.6%)
病弱養護学校	480	438 (91.3%)	16 (3.3%)	2 (0.4%)	4 (0.8%)	20 (4.2%)
中学校特殊学級計	9,695	8,590 (88.6%)	369 (3.8%)	227 (2.3%)	509 (5.3%)	

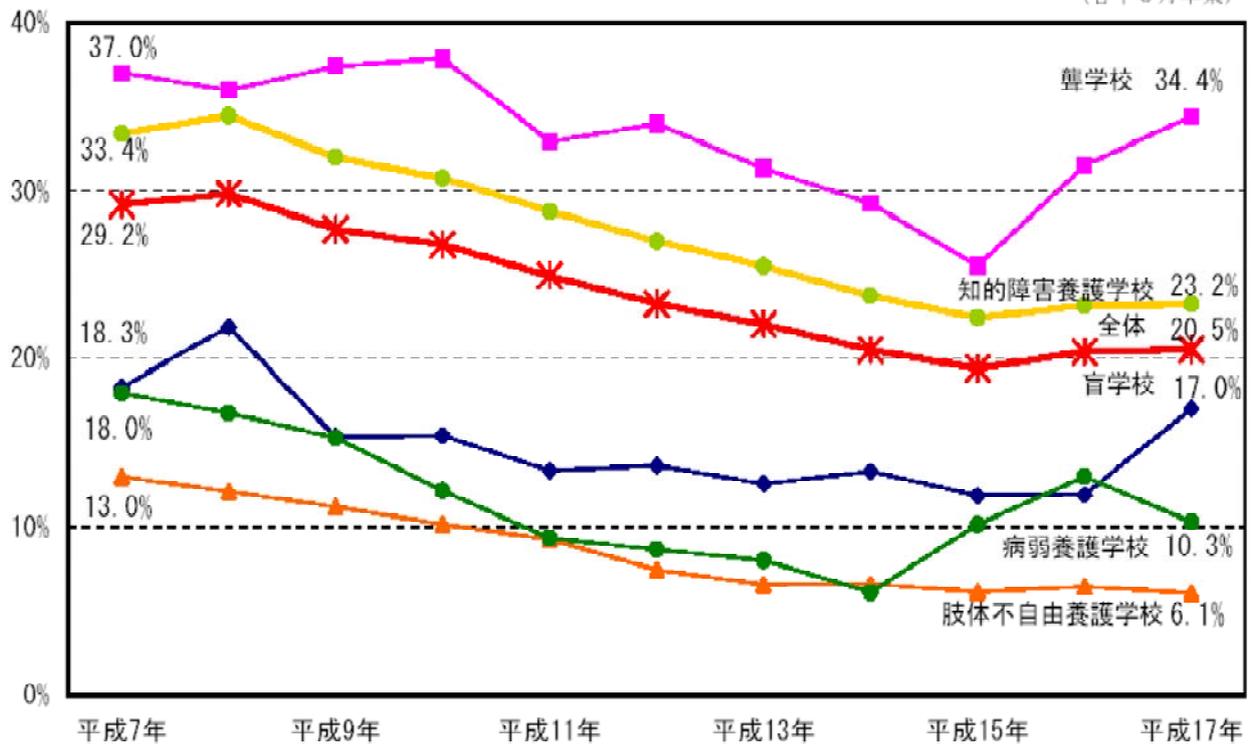
（2） 高等部（本科）卒業者の進路状況（カッコ内は卒業者に対する割合）

区分	卒業者	進学者	教育訓練機関等	就職者	施設・医療機関	その他
盲・聾・養護学校高等部計	人 13,022	人 465 (3.6%)	人 496 (3.8%)	人 2,672 (20.5%)	人 7,326 (56.3%)	人 2,063 (15.8%)
盲学校	305	111 (36.4%)	10 (3.3%)	52 (17.0%)	85 (27.9%)	47 (15.4%)
聾学校	477	210 (44.0%)	45 (9.4%)	164 (34.4%)	34 (7.1%)	24 (5.0%)
養護学校計	12,240	144 (1.2%)	441 (3.6%)	2,456 (20.1%)	7,207 (58.9%)	1,992 (16.3%)
知的障害養護学校	9,899	78 (0.8%)	294 (3.0%)	2,299 (23.2%)	5,797 (58.6%)	1,431 (14.5%)
肢体不自由養護学校	1,981	31 (1.6%)	96 (4.8%)	120 (6.1%)	1,253 (63.3%)	481 (24.3%)
病弱養護学校	360	35 (9.7%)	51 (14.2%)	37 (10.3%)	157 (43.6%)	80 (22.2%)

※四捨五入のため、各区分の比率の計は必ずしも100%にはならない。

盲・聾・養護学校高等部（本科）の就職率の推移

(各年3月卒業)



Ⅱ 特殊学級、通級による指導の現状

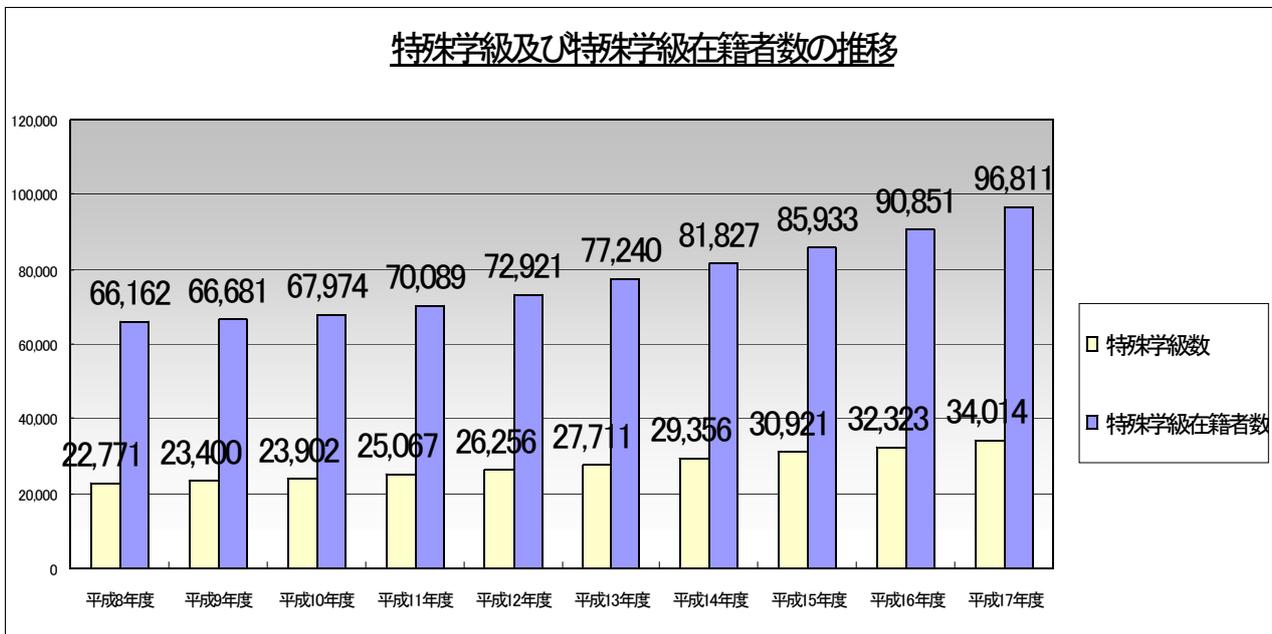
1 特殊学級に在籍する児童生徒の現状

特殊学級は、障害の比較的軽い子どものために小・中学校に置かれている学級であり、知的障害、肢体不自由、病弱・身体虚弱、弱視、難聴、言語障害、情緒障害の学級がある。

(平成17年5月1日現在)

区分	小学校		中学校		合計	
	学級数 ^{学級}	児童数 ^人	学級数 ^{学級}	生徒数 ^人	学級数 ^{学級}	児童生徒数 ^人
知的障害	12,927	39,763	6,264	19,986	19,191	59,749
肢体不自由	1,648	2,914	554	834	2,202	3,748
病弱・虚弱 (※ 院内学級を含む)	639	1,261	262	435	901	1,696
弱視	177	221	49	74	226	295
難聴	437	821	195	337	632	1,158
言語障害	328	1,197	31	44	359	1,241
情緒障害	7,550	21,508	2,953	7,416	10,503	28,924
総計	23,706	67,685	10,308	29,126	34,014	96,811

※院内学級とは、学校教育法第75条の2の規定「前項に掲げる学校は、疾病により療養中の児童及び生徒に対して、特殊学級を設け、又は教員を派遣して、教育を行うことができる。」に基づいて病院内に設置される病弱・身体虚弱の特殊学級をいう。



2 通級による指導の現状

通級による指導は、小・中学校の通常の学級に在籍している障害の軽い子どもが、ほとんどの授業を通常の学級で受けながら、障害の状態等に応じた特別の指導を特別な場（通級指導教室）で受ける指導形態である。通級の対象は、言語障害、情緒障害、弱視、難聴などである。

(平成17年度5月1日現在)

区分	小学校				中学校				合計			
	自校 通級	他校 通級	巡回 指導		自校 通級	他校 通級	巡回 指導		自校 通級	他校 通級	巡回 指導	
言語障害	29,683	11,244	17,892	547	224	49	155	20	29,907 77.2%	11,293	18,047	567
情緒障害	5,764	1,718	3,921	125	1,072	430	627	15	6,836 17.6%	2,148	4,548	140
弱視	133	18	104	11	25	4	16	5	158 0.4%	22	120	16
難聴	1,536	292	1,098	146	280	81	169	30	1,816 4.7%	373	1,267	176
肢体不自由	4	2	1	1	1	1	0	0	5 0.01%	3	1	1
病弱・ 身体虚弱	14	11	2	1	2	0	2	0	16 0.04%	11	4	1
計	37,134 95.9%	13,285	23,018	831	1,604 4.1%	565	969	70	38,738 100.0%	13,850 35.8%	23,987 61.9%	901 2.3%

通級による指導対象児童生徒数の推移

